

## 日本教育大学協会評議員会を開催

日本教育大学協会評議員会が6月15日（金）午後、KKRホテル東京において開催された。

冒頭の村松泰子日本教育大学協会長（東京学芸大学長）のあいさつでは、「教員養成系大学・学部の人材育成の課題である教員の資質能力向上の問題に加え、大学全般への関心が非常に高まっている。中教審教員の資質能力向上特別部会において審議のまとめが出され、さらに中教審大学分科会の大学教育部会で学士課程教育の質的転換のための方策が議論されている。それぞれ8月末に予定されている中教審総会で答申の見込みと伺っている。また、それと並行して文部科学省から大学改革実行プランが発表された。大学・学部のミッションの再定義の対応は、個々の大学・学部の取組だと思うが、教大協の事業の中に教育政策に対する提言活動をしていくことを盛り込んだ直後にこのような動きになってきているので、今後も皆様にご協力いただきながら情報の共有をしっかりとしていきたいと思っている。」と述べた。

引き続き、文部科学省説明では、初等中等教育局の藤原章夫教職員課長から、中教審教員の資質能力向上特別部会の「審議のまとめ」について、高等教育局大学振興課の鍋島豊教員養成企画室長から、①大学改革タスクフォースについて、②大学改革実行プラン、③国立大学改革強化推進事業等予算関連事項、④中教審大学分科会での審議状況について、⑤大学入試センター試験の対応について説明があった。また、生涯学習政策局参事官（学習情報政策担当）付の伊藤賢情報政策室長から、教育の情報化について説明があり、それぞれ活発な意見交換が行われた。

会議後半は、平成23年度事業報告、各委員会・地区会等からの報告があった後、平成23年度決算書、平成24年度事業計画・予算等が提案どおり承認された。その後、当面の諸課題等について意見交換が行われ、教員養成系大学・学部を取り巻く様々な情勢等について話し合われた。



村松会長



藤原教職員課長



施策説明をする文部科学省関係者。左から伊藤情報政策室長、鍋島教員養成企画室長、藤原教職員課長



左から村松会長、本間副会長、加藤副会長、大槻事務局長



文部科学省の説明に聞き入る各評議員